

2021年度Cライセンス審判員学科試験問題

《2021年4月18日(日)実施》

地区名

氏名

*問 主な注意事項について()に当てはまる語句を下から選びなさい。

スコア

- スコアは、「(一本)」と「(技有)」のみとする。
- 「技あり」には、今までの「(有効)」も含まれる。
- 着地してから(攻撃動作)が継続しその後ローリングした場合、もしくは体側が着地してからローリングした場合は「技あり」を与えることができる。

抑え込み時間

- (10) 秒で「技あり」、(20) 秒で「一本」とする。

試合の決着

- 規定試合時間(4分)において、試合は「技あり」、もしくは「一本」の(テクニカルスコア)でのみ決着がつくこととする。
- (直接もしくは累計による)「反則負け」を除き、「(指導)」(1回目、2回目)の違いだけで は勝者を決定しない。
- 「指導」は、相手の(スコア)とはならない。

ゴールデンスコア

- 規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合は(ゴールデンスコア)に移行する。
- ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコアならびに罰則は引き続き(スコアボード)に表示される。
- ゴールデンスコアにおいてはスコア又は「反則負け」((直接的)又は「指導」の累積による)によってのみ(勝負)が決まる。。
- 「指導」は()のスコアとはならない。

大会におけるマウスピースの使用を可とする

- マウスピースは(白 透明)または(白 透明)なものとし、使用する選手は畳に上がる前に審判員または試合場係員にマウスピースを使用していることを(申告)すること。

新たに適用される罰則

- 「攻防に関係の無い行為で、意図的に相手の柔道衣(裾部分)を帯から出す行為も対象となり、「指導」が付与される。通常の攻防の中で、偶発的に相手の服装を乱すことは対象とならない。
- 「故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為」は、柔道精神 に反する行為として、1回目は「待て」として、ノースコア、ノーペナルティで試合を継続する。2回目が起これば、故意であると判断し「(反則負け)」を付与する。

透明 指導 20 スコア ゴールデンスコア スコアボード 相手

4分 終了 申告 技あり 有効 直接的 白 テクニカルスコア

同等 10 一本 裾部分 反則負け 攻撃動作 勝負 判断